

## 東北ハイテク研究会講演会



# スマート農業実証プロジェクトの取り組みから見る スマート農業普及の可能性と課題

## 講演会開催のねらい

現在、ロボット、AI、IoT など先端技術を活用した「スマート農業」による日本農業のイノベーションを目指して農林水産省が旗を振り、全国各地でスマート農業実証プロジェクトが実施されています。この事業は、さまざまなスマート農業技術を実際に生産現場に導入し、3年間にわたって技術実証を行い、その経営効果进行评估するという意欲的なものです。令和元年度から事業が開始され、現在、全国 202 地区において実証が行われ、さまざまな効果や課題が確認されています。

この実証プロジェクトでは、スマート農業技術導入の農業経営に及ぼす効果の検証が目指され、様々な角度から経営データが農研機構に集められ、分析が行われています。こうした分析結果は農研機構ならびに農林水産省からその都度公開されていますが、その全貌を把握するのは困難です。

今回の講演会は、これまで全国 10 か所以上でスマート農業実証プロジェクトにコンソメンバーとして参加し、マネージと経営データの収集・解析に従事している日本農業サポート研究所代表の福田浩一さんをお招きして、「スマート農業実証プロジェクトの取り組みから見るスマート農業普及の可能性と課題」について報告いただき、参加者の皆様と意見交換をしていただくという趣旨で企画させていただきました。

スマート農業実証プロジェクトの現場でご苦労されている福田さんの取り組みから、スマート農業の普及の可能性と課題を実践の現場から掘り下げてみたいと考えています。

今回のセミナーにつきましては、全国の多くの方々に現場の取り組みからスマート農業の可能性と課題を知ってもらうことを目指して Online で実施することとしました。

多くの皆様方の積極的な参加をお待ちしております。

## 開催日等

日時：令和4年7月13日（水） 15:15 ~ 16:30

開催場所：オンライン開催（Zoom(ウェビナー)によるライブ配信）

参加費：無料

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室  
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

## 講演会

演題：スマート農業実証プロジェクトの取り組みから見るスマート農業普及の可能性と課題

演者：福田 浩一 氏（株式会社 日本農業サポート研究所 代表取締役）



福田浩一氏

略歴：東京農業大学農学部卒業、博士（農業経済学）  
元全国農業改良普及支援協会情報部長

◆2003年、JICA農業普及短期専門家として中国に派遣され、中国の普及システムおよび普及情報システムについて助言を行った。

◆2005年および2006年、インドネシアで開催されたAPECのワークショップに派遣され、日本の農業指導現場等でのIT活用について講演した。

◆現在、日本農業普及学会・国際交流委員会委員。  
主な著書「IT活用で変わる農業普及」（東京農業大学出版会）など。

◆また、これまで全国10か所以上でスマート農業実証プロジェクトのコンソメンバーとして、その推進に尽力している。

## 申込方法等

- ・7月12日（火）までに、下記の申込フォーム（URL）からお申し込みください。

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_RkTOMWwhQNYlQUZ5vF5mhw](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_RkTOMWwhQNYlQUZ5vF5mhw)

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局（藤井）

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内

TEL：080-2806-9926

E-mail：tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp（ご使用時は、@を1ヶ削除願います。）

- ・本講演会は、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。